

令和8年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

課等名：指導課

シート No.：37

作成日：2026.9/2

（１）総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	Ⅲ学校教育・生涯学習の推進	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	1 学校教育を充実し、次世代を育てる	・学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」が求められ、児童生徒が主体的に課題を見つけて解決する探究的な学びを推進する必要があります。児童生徒が主体的に学習を進めていく中での学力向上が求められています。 ・外国籍幼児児童生徒や特別な配慮を要する幼児児童生徒が年々増加しております。国の中央教育審議会では、多様性を包摂し、開花させる教育の実現が課題とされています。特に本市は、外国籍児童の在籍率が県内でも一番多いため、手立てが求められます。	・ALT をすべての小中学校に配置し生きた英語に触れる機会を増やしたり、英検受験料の助成により積極的な英語検定取得を促したりすることで、英語の力を向上させます。 ・外国籍幼児児童生徒を支援するため、外国人支援員の活用を図ります。 ・教職員の資質向上を図るため、JOSO 教員アカデミーを始めとした研修を実施いたします。 ・配慮を要する幼児児童生徒の障害の状態に応じた就学先が選択できるように相談を行います。
	施策	1 学校教育		
	施策内容	教育内容の充実		
	その他、拠法令及び分野別計画等	じょうそう未来創生プラン後期基本計画、学習指導要領、学校教育指導方針、教育委員会グランドデザイン		
事務事業名		教育内容充実		

（２）アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

（３）インプット（投入）

No.	アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R 8 予算額	R 8 決算額
	活動名・事業名 （対象年）	R 8 活動・事業内容	指標名（単位）	R 8 目標値	R 9 目標値		
				R 8 実績値	R10 目標値		
①	外国語対応事業 （R 8・9・10）	ALT を活用した外国語・英語授業を行い、授業の充実を図ります。	中 3 年生の英語力 CEFR A1（英検 3 級相当）の割合（％）	45	50	69,224 千円	千円
					55		
②	外国語対応事業 （R 8・9・10）	外国人児童生徒支援員を配置し、外国籍幼児児童生徒が安心して学校生活を送れるようにします。	配置人数（人）	8	8	14,722 千円	千円
					8		
③	JOSO 教員アカデミー （R 8・9・10）	教職員の資質向上のために JOSO 教員アカデミーを開催し、市独自での研修の機会を設けます。	参加人数（人）	延べ参加者 100	延べ参加者 100	25 千円	千円
					延べ参加者 100		
④	障がい児教育 （R 8・9・10）	障害をもつ幼児の保護者と就学相談を行い、小学校において適切な学びの場が選択できるようにします。	保護者（市民）との 相談（人）	40	40	420 千円	千円
					40		
⑤	外国語対応事業 （R 8・9・10）	生徒の英語の英語力や学習意欲の向上のために英検の半額助成を行います。	中学 3 年生の英検 3 級取得（％）	28	30	765 千円	千円
					40		
⑥						千円	千円
⑦						千円	千円
⑧						千円	千円
⑨						千円	千円
⑩						千円	千円

（４）アウトカム（成果）

成果に関連する上記（２） の活動名・事業名（No.）	指標名（単位）	指標の設定理由と目標値の根拠 （目標値を達成することにより市として何が達成されるか）	R 7 現状値	R 8 目標値	R 8 実績値	目標年度
						目標値
①・②・③・④	学校に行くのが楽しいと思 っている児童生徒	後期基本計画において「学校教育の充実し、次世代を育てる」と掲げており、本指標の向上により学校生活が充実していると考える。	小 82.3% 中 86.6%	小 83% 中 87%		令和 9 年度
						90
③・⑤	自分で考え、自分から課題 解決に向けて取り組んだ児 童生徒	学習指導要領において「主体的・対話的で深い学び」が掲げられており、本指標の向上により現在国や県が求められている授業が展開できていると考える。	小 80.0% 中 78.1%	小 82% 中 80%		令和 9 年度
						85

（５）目的・成果の達成に向けた点検・改善

業務の振り返り	改善の余地	今後の方向性
	☐ コスト	
	☐ 活動	
	☐ 成果	
	☐ その他	